多肉+エアプランツ　取扱説明書

多肉植物
乾燥した環境で生き延びるために、水分を蓄えられるように根や茎、葉などを肉厚に発達させています。
非常に種類が多く、世界各地に数千種類以上生息するといわれています。

◆水やり

・根が出てくるまでは水やりを控えてください。

・発根すると枝が痩せたり、しわがよってくるのでそのタイミングで水やりを始めてください。
・発根までは2～3週間が目安ですが、植物の種類や置き場所、季節によって異なります。
・春秋・・・土が乾いたら（週に1回程度）表面が湿る程度、霧吹きで与えてください。
・夏季・・・月に1回程度　涼しくなってきた夕方から夜の間に霧吹きで葉水してください。
・冬季・・・月に1回程度　温かい午前中に霧吹きで葉水してください。
※水をあげすぎると腐ってしまうので、やり過ぎには注意してください。葉や茎の状態を確認して、
痩せてきているようなら水を与えてください。逆に張りがあり、太っている時は水は必要ありません。

エアプランツ
空気中の水分と窒素などを吸収して成長するのが特徴で、土を必要としないところからその名で呼ばれています。温度差など環境への適応能力が高く、管理がしやすいのも特徴です。

◆水やり

・日常の水やりは夜間に行ってください。夜間に葉から水分を吸収し、日中は気孔が閉じています。
・春秋・・・成長期となり、週2回～3回程度、霧吹きで株全体を濡らすように与えてください。
・夏冬・・・春秋と比べて回数をやや控えめにしてください。
※蒸れに弱い植物なので、夏場に濡れたままになっていると腐ったり、蒸れる恐れがあります。
・葉の間に水をためたままにしないように注意してください。
・月に1～2回はソーキング*を行ってください。成長期の春秋には特に必要です。
*ソーキング・・・バケツなどに室温にもどした水をはり、4～8時間浸しておくこと

〇置き場所

・風通しの良い明るい半日陰に置いてください。

・多肉植物は日光不足だと枯れてしまいますが、エプランツは直射日光は良くないのでカーテン越しなどの半日陰が最も適しています。※エアプランツは直射日光を当てると葉が焼け、枯れてしまいます。
・冬場の日差しならエアプランツも直射日光が当たっても大丈夫なので、明るい窓辺に置いてください。
・冷房や暖房の風が直接あたるような場所には置かないでください。
・暗がりでは成長できず、枯れる原因となりますのでご注意ください。

Q&A

Q. 多肉植物の根がなく、土に植えられていませんが、大丈夫ですか？
カット苗なので、明るい場所に置いておくと根が出てきます。その際に土へ埋めて水をあげてください。

Q. 毎日水をあげた方がいいですか？
季節に関係なく毎日の水やりは必要ありません。葉の状態をみて霧吹きであげてください。
約90%が水分でできているので、葉が張りがなくなったり、痩せた時が水やりのタイミングです。

Q. エアプランツも土に植えた方がいいですか？
エアプランツは土に植えると腐ることがあるので、軽石にのせておく程度にしてください。

Q. エアプランツは水をあげなくても大丈夫ですか？
室内では夜露もないので、水やりは必要です。また成長期にはソーキングも行ってください。

Q. 付属のモスは成長しますか？
プリザーブド加工されているので、成長はしません。あくまでも装飾としてご使用ください。
着色をしているので、色が抜けたり、乾燥で変色することがあります。

Q. 暑い夏は水やりを増やした方がいいですか？
夏は湿気が多く、水やりを控える時期となります。特に多肉植物は月に1回程の頻度となります。
春秋が成長期なので水やりを増やしてください。成長期には色が抜けたり、紅葉する種類もあります

Q. 弱ってきたのですが、どうすればよいですか？
多肉植物、エアプランツの枯れる原因に水のやり過ぎによる蒸れ、日光不足があるので日光が届く半日陰で、かつ風通しの良い場所に移して様子をみてください。窓辺のカーテン越しがオススメです。